

土浦市モール505
新商店街地区整備事業



プロジェクト概要

筑波研究学園都市にて、国際科学万博の昭和60年3月開催が決定され、土浦市は万博会場への交通の玄関口としての役割を担うこととなった。そのため、土浦駅東口から万博会場近傍までの約3kmの市街地の中を、幹線道路上空に高架道路を整備することとなった。

その用地沿道で移転を余儀なくされた地権者のうち33名が、昭和57年春より市の指導により協議会を結成し、市の駐車場用地(かつては水路用地)約2万㎡のうちの一部に、新商店街を建設した。

新商店街は延長505m。2、3階で連結した3階建が5棟配置され、物販26店、飲食16店、サービス関連4店、事務所4店の計50店で構成されている。広場部分では、市民のイベントが開催されている。

詳細情報

建設地	茨城県土浦市
建築主	(株)モール土浦
再開発コーディネーター	(株)アイテック計画
設計/監理	(株)アイテック計画
デベロッパー	(株)モール土浦
施工	(株)鹿島建設
構造/規模	S造 地上3階(5棟連続)
地区面積	約20,000㎡
敷地面積	約3,800㎡
延べ面積	約8,200㎡(広場及びモール部分:約13,000㎡)
事業認可	昭和59年 8月
竣工	昭和60年 3月